

非稼働病床の現況について（豊能二次医療圏）

※過去1年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去1年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	医療法人互恵会池田回生病院	池田市	37床	平成 20 年度	医師は大学、紹介会社や知り合いに働きかけ、昨年度、今年度共に増員出来てきている。 が、看護師は未だに不足しており、患者様の高齢化やADL等の状態も変わりつつあり、夜勤従事者含め、病棟再開には10名程度必要となるため。	再稼働する。	未定	令和6年度に整形外科、消化器内科各1名増員し、現在稼働中の病棟の一部を地域包括ケア病床に転換しました。 令和6、7年度に看護師を増員し、確保出来次第、再稼働の予定です。
2	独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター	豊中市	15床	令和 2 年度	令和2年2月より4月中旬にかけて非稼働病床26床を新型コロナウイルス感染症患者受入病床として使用した経緯があるが、令和2年4月下旬からは既稼働病床にて受入を実施した。 病棟の運用病床数を令和2年6月より9床、令和5年2月より2床増加したため、現在の非稼働病床は15床となっており、病院運営に必要な看護師数等は現行の稼働病床数に基づき配置している状況である。	再稼働する。	未定	現在、非稼働病床となっている15床は、体制が整い次第稼働させる予定である。ただし、新興感染症患者（新型コロナウイルス感染症患者を含む）受入のための病床として使用する可能性は多分に残されており、通常の運用病床として稼働可能となる時期は現時点では未定。
3	大阪市立弘済院附属病院	吹田市	47床	令和 5 年度	施設が老朽化し、入院患者が減少したため、2病棟有しているが1病棟にて運用している。病院再編計画を策定済。	その他		令和9年5月に病院再編計画に基づき、閉院予定。
4	大阪大学医学部附属病院	吹田市	10床	令和 2 年度	健常者の治験病床のため	その他		健常者の治験病床のため
5	国立研究開発法人 国立循環 器病研究センター	吹田市	25床	令和 1 年度	稼働できてない理由は3点。 1. 財務 非稼働病床すべてを稼働させるには人件費の確保が必要であり、採用計画は中長期的な計画となる。 また、長期投資が可能な安定的な収益が見込めるのか診療報酬改定の動向を見極める必要がある。 2. 人材 非稼働病床を持つ病棟はすべて高度専門治療室であるため、相應の技術を習得した看護師等配置が必要となる。 3. 患者 コロナ禍後の患者動向、及び当院医療圏の人口動態や各病院の病床計画等を長期的視点で勘案する必要がある。	再稼働する。	令和8年度中	令和6年度…非稼働病床の再稼働方法を検討中 令和7年度…必要人材の採用活動及び教育研修 令和8年度…病床再稼働
6	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部大阪府済生会千里病院	吹田市	45床	令和 5 年度	看護師不足	再稼働する。	令和7年度中	看護師確保が出来ればすぐにでも再開する。
7	医療法人 平心会 OCRO Mクリニック	吹田市	12床	令和 5 年度	治験に特化した医療機関であり、入院試験実施時のみベッドが稼働するため	その他		治験に特化した医療機関のため、入院試験実施時のみベッドが稼働するが、治験を受託するためには稼働に関わらず最大病床数である19床を確保する必要があるため